



## 平成 23 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年 7 月29日

上場会社名 東京都競馬株式会社

上場取引所 東

コード番号 9672

URL <http://www.tokyotokeiba.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 一久

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 磯部 尚志

(TEL) 03 (3271) 6893

四半期報告書提出予定日 平成23年 8 月11日

配当支払開始予定日

平成23年 9 月 1 日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 23 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年12月期第 2 四半期	6,153 △13.3	238 △54.4	246 △52.6	△232 —
22年12月期第 2 四半期	7,095 △0.4	521 △44.7	520 △44.6	540 △3.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第 2 四半期	△0 81	—
22年12月期第 2 四半期	1 89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第 2 四半期	58,136	50,287	86.5	175 85
22年12月期	61,502	51,016	82.9	178 39

(参考) 自己資本 23年12月期第 2 四半期 50,287百万円 22年12月期 51,016百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	1 50	—	1 50	3 00
23年12月期	—	1 50			
23年12月期(予想)			—	1 50	3 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成 23 年 12 月期の連結業績予想 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	15,335 △8.0	1,907 △27.4	1,911 △26.7	742 △58.7	2 60

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.04「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期 2 Q	287,648,547株	22年12月期	287,648,547株
23年12月期 2 Q	1,673,742株	22年12月期	1,663,185株
23年12月期 2 Q	285,979,921株	22年12月期 2 Q	286,015,160株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）P.03「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	P. 02
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 02
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 03
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 03
2. その他の情報 .....	P. 04
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	P. 04
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	P. 04
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	P. 04
3. 四半期連結財務諸表 .....	P. 05
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 05
(2) 四半期連結損益計算書 .....	P. 07
【第2四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 08
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 10
(5) セグメント情報 .....	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、東日本大震災による大井競馬、伊勢崎オートレースの開催中止や東京サマーランドの休園などにより、売上高は61億5千3百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益は2億3千8百万円（同54.4%減）、経常利益は2億4千6百万円（同52.6%減）となり、災害による損失及び投資有価証券評価損等を特別損失に計上したことなどから、四半期純損失は2億3千2百万円（前年同期は四半期純利益5億4千万円）となりました。

なお、当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中（夏期）に年間入場者の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価が著しく増加する傾向にあります。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

#### [競馬施設事業]

競馬施設事業におきましては、大井競馬場において、競馬場北門アーケードの照明をLED照明に改修し、CO<sub>2</sub>の削減に取り組むなど、環境に配慮した施設の整備を実施したほか、大井競馬場の関係者とともに大規模災害を想定した訓練を行い、危機管理体制の強化に努めました。

また、地方競馬共同トータリゼータシステム（投票券発売等システム）構築事業につきましては、整備実施者として、各主催者及び関係団体と連携を取りながら、7月からの一部稼働に向け、関連システムの開発やデータセンターの整備を引き続き実施いたしました。

なお、震災による電力供給不足の影響により取り止めておりました大井競馬のナイター開催については、主催者及び関係団体と協力して、レースに影響を及ぼさない馬場の照度を検証し、一部のナイター照明を落とすなど節電対策に取り組み、5月9日より再開いたしました。

この間、大井競馬は40日開催され、大井競馬場外発売所（後樂園、汐留、ひたちなか、大郷、新潟他）及び在宅投票並びに南関東3競馬場（浦和、船橋、川崎）などの場外発売（広域場外を含む）を含めた投票券総売上高は357億6千1百万円でありました。前年同期と比べると、震災の影響等により開催日数が4日減少したこともあり、投票券総売上高は66億2千6百万円減少いたしました。

また、大井場外発売は浦和競馬が19日、船橋競馬が20日、川崎競馬が30日実施され、前年同期と比べると、川崎競馬が1日増加したものの、震災の影響等により浦和・船橋競馬はそれぞれ9日減少いたしました。その他各地方競馬の広域大井場外発売につきましても、153レース実施されましたが、前年同期と比べると、28レース減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の競馬施設事業の売上高は32億5千6百万円（前年同期比17.8%減）、営業利益は1億5千1百万円（同72.6%減）となりました。

#### [オートレース施設事業]

オートレース施設事業におきましては、伊勢崎オートレース場において開催された「SG全日本選抜オートレース」（2月9日～13日）に向けて、西屋外投票所を冷暖房完備の屋内投票所にリニューアルするなど、より快適な発売環境の整備を進めたほか、主催者及び関係団体と協力し、雑誌媒体と連携したモーターサイクルイベントにおいて模擬オートレースを実施するなど、新規ファンの獲得と売上増進に努めました。

この間、伊勢崎オートレースは23日開催され、川口オートレース他4場の場外発売を含めた投票券売上高は35億3千6百万円でありました。前年同期と比べると、震災の影響等により開催日数が18日減少したこともあり、投票券売上高は23億9千1百万円減少いたしました。

また、川口オートレース他4場の伊勢崎場外発売は延べ126日実施され、投票券売上高は34億5千5百万円でありました。前年同期と比べると、震災の影響等により実施日数が24日減少したこともあり、投票券売上高は6億1千8百万円減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のオートレース施設事業の売上高は1億8千3百万円（前年同期比29.1%減）、営業利益は2千万円（同59.1%増）となりました。

なお、震災による電力供給不足の影響により取り止めておりました伊勢崎オートレースのナイター開催については、主催者及び関係団体と協力して、レースに影響を及ぼさない走路の照度を検証し、一部のナイター照明を落とすなど節電対策に取り組み、7月7日より再開いたしました。

## 〔遊園地事業〕

遊園地事業におきましては、東京サマーランドにおいて、4月にスリルマウンテン（屋外遊園地エリア）にファミリー向けの空中対戦型回転アトラクション「ランダーズカップ」を新規導入し、遊戯機器の充実を図ったほか、6月恒例の催しとなりました「あじさい観賞」については、今年も多くのお客様にご来園いただき好評を博しました。

また、夏季の節電対策として、9台の自家発電装置を新たに設置したほか、屋内外すべてのプール水について、第三者機関による放射線量検査を実施し、測定結果をホームページに掲載するとともに、遊戯機器の運行マニュアルの見直しやアドベンチャーラグーン（屋外プールエリア）内に救護室・監視室を新設するなど、安全管理体制の一層の強化に努めました。

なお、長年ご愛顧いただきましたボウリング場「サマーボウル」につきましては、5月8日をもちまして営業を終了いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の東京サマーランドの入場人員は20万人となり、震災の影響による電力事情や安全等に配慮した休園により、営業日数が33日減少したこともあり、遊園地事業の売上高は3億6百万円（前年同期比29.3%減）、営業損失は7億4千4百万円（前年同期は営業損失7億1千4百万円）となりました。

## 〔倉庫賃貸事業〕

倉庫賃貸事業におきましては、顧客の在庫調整の動きによる倉庫需要の低迷に加えて、震災によるリスク分散化のための拠点の見直しもあり、依然として賃料相場の下落傾向が続くなど、厳しい環境におかれました。

この間、事業基盤強化のため、勝島地区構内において、引き続き3号倉庫の建設（8月31日竣工予定）に取り組むとともに、既存施設の整備改善に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の倉庫賃貸事業の売上高は、賃料改定等の影響により16億8千4百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は11億5千4百万円（同1.7%減）となりました。

## 〔サービス事業〕

サービス事業におきましては、「大井競馬場前ショッピングモール ウィラ大井」において、震災の影響により一部店舗の営業時間短縮などがありましたが、安全対策と危機管理体制の一層の強化や地域住民の皆様のニーズに対応した営業に努めたことから、来店者数も順調に増加いたしました。

また、賃貸マンション、コンビニエンスストア、トランクルーム及びコイン洗車場など既存事業につきましても、一層の効率化により安定的な収益確保に努めました。

さらに、大井競馬場第一駐車場に隣接するスエヒロレストランの建て替え工事を実施し、焼肉専門店「スエヒロ館」としてリニューアルいたしました（7月1日オープン）。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のサービス事業の売上高は7億2千2百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は7千5百万円（同324.2%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ33億6千6百万円減少し、581億3千6百万円となりました。これは、その他流動資産が5億3千7百万円増加したのに対し、現金及び預金が29億4千7百万円減少、営業未収入金が7億6千5百万円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ26億3千7百万円減少し、78億4千8百万円となりました。これは、資産除去債務が4億1百万円増加したのに対し、未払法人税等が4億8千5百万円減少、長期借入金の返済額5億円の支払い、その他流動負債が15億4千7百万円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ7億2千8百万円減少し、502億8千7百万円となりました。これは、期末配当金4億2千8百万円、四半期純損失2億3千2百万円により利益剰余金が6億6千1百万円減少、上場株式等の時価変動によりその他有価証券評価差額金が6千5百万円減少したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の82.9%から86.5%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期通期連結業績予想につきましては、電力需給削減対策の対応を行うなか、大井競馬場及び伊勢崎オートレース場においてナイター開催が実施されたことに伴い、売上が想定以上の回復が見込まれることから、前回発表予想を修正いたしました。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ1千1百万円減少、税金等調整前四半期純損失は1億3千5百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は3億9千8百万円であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,986,036	5,933,846
営業未収入金	1,845,783	2,611,068
有価証券	2,137,171	2,055,656
たな卸資産	69,508	51,509
繰延税金資産	146,868	107,403
その他	596,175	59,030
貸倒引当金	△8,066	△646
流動資産合計	7,773,477	10,817,866
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	21,079,552	21,130,884
建物附属設備（純額）	5,415,751	5,716,365
構築物（純額）	7,616,474	7,699,232
機械装置及び運搬具（純額）	1,889,033	1,717,568
土地	10,262,038	10,262,038
建設仮勘定	586,100	586,416
その他（純額）	392,930	413,602
有形固定資産合計	47,241,880	47,526,109
無形固定資産		
ソフトウェア	652,791	797,142
施設利用権	42,204	45,171
その他	12,226	12,226
無形固定資産合計	707,221	854,539
投資その他の資産		
投資有価証券	1,008,833	1,306,650
長期前払費用	267,385	93,392
繰延税金資産	1,034,104	776,690
その他	103,340	127,405
投資その他の資産合計	2,413,664	2,304,137
固定資産合計	50,362,767	50,684,787
資産合計	58,136,244	61,502,654

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	398,803	614,456
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払金	364,917	397,196
未払法人税等	207,777	693,731
未払消費税等	35,479	271,034
賞与引当金	46,141	45,364
災害損失引当金	21,831	—
その他	394,496	1,942,127
流動負債合計	2,469,447	4,963,910
固定負債		
長期借入金	1,425,000	1,925,000
長期預り金	1,745,893	1,745,077
退職給付引当金	1,632,571	1,578,822
役員退職慰労引当金	173,936	273,473
資産除去債務	401,500	—
繰延税金負債	448	—
固定負債合計	5,379,348	5,522,372
負債合計	7,848,796	10,486,283
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,857,668	6,857,668
利益剰余金	33,128,226	33,790,003
自己株式	△328,848	△327,650
株主資本合計	50,243,343	50,906,318
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,104	110,052
評価・換算差額等合計	44,104	110,052
純資産合計	50,287,448	51,016,371
負債純資産合計	58,136,244	61,502,654



## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	7,095,171	6,153,977
売上原価	5,814,993	5,252,080
売上総利益	1,280,177	901,897
一般管理費	758,345	663,829
営業利益	521,832	238,068
営業外収益		
受取利息	6,303	4,671
受取配当金	21,499	16,250
線下補償料	—	8,078
その他	10,783	9,083
営業外収益合計	38,587	38,083
営業外費用		
支払利息	39,919	29,329
その他	114	0
営業外費用合計	40,034	29,330
経常利益	520,384	246,821
特別利益		
補助金収入	556,500	—
その他	14,868	—
特別利益合計	571,368	—
特別損失		
災害による損失	—	257,076
投資有価証券評価損	154,694	165,422
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	123,365
固定資産除却損	38,100	—
その他	—	16,556
特別損失合計	192,794	562,420
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	898,958	△315,599
法人税、住民税及び事業税	599,600	167,584
法人税等調整額	△241,179	△250,385
法人税等合計	358,420	△82,800
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△232,799
四半期純利益又は四半期純損失(△)	540,537	△232,799

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	898,958	△315,599
減価償却費	1,524,169	1,544,543
災害損失	—	257,076
投資有価証券評価損益(△は益)	154,694	165,422
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	123,365
補助金収入	△556,500	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	636	7,419
賞与引当金の増減額(△は減少)	964	777
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20,755	53,749
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△21,561	△99,537
受取利息及び受取配当金	△27,803	△20,922
支払利息	39,919	29,329
投資有価証券売却損益(△は益)	113	16,556
売上債権の増減額(△は増加)	△696,836	765,285
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,595	△17,998
仕入債務の増減額(△は減少)	△160,998	△215,652
未払消費税等の増減額(△は減少)	73,654	△235,555
預り金の増減額(△は減少)	—	△1,558,767
長期預り金の増減額(△は減少)	△181	816
その他	282,353	△599,627
小計	1,482,233	△99,320
利息及び配当金の受取額	26,839	20,217
利息の支払額	△30,746	△22,669
災害損失の支払額	—	△201,549
補助金の受取額	586,500	—
法人税等の支払額	△660,776	△653,538
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,404,050	△956,861
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,475,000	△1,000,000
定期預金の払戻による収入	1,327,000	1,000,000
有価証券の取得による支出	△2,250,000	△3,180,945
有価証券の売却による収入	866,933	599,961
有価証券の償還による収入	1,690,000	2,500,000
有形固定資産の取得による支出	△4,016,223	△776,291
無形固定資産の取得による支出	△5,085	△134
投資有価証券の売却による収入	3,230	4,016
長期前払費用の取得による支出	—	△210,000
その他	△269	2,183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,859,412	△1,061,209
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△500,000	△500,000
自己株式の取得による支出	△3,824	△1,197
配当金の支払額	△425,132	△428,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	△928,957	△929,739

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,384,319	△2,947,809
現金及び現金同等物の期首残高	5,688,115	5,933,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,303,795	2,986,036

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：千円）

	競馬施設 事業	オートレース 施設事業	遊園地事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計	消去 又は全社	連結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,960,208	258,472	434,137	1,720,540	721,812	7,095,171	—	7,095,171
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,161	—	—	—	9	1,170	(1,170)	—
計	3,961,369	258,472	434,137	1,720,540	721,821	7,096,342	(1,170)	7,095,171
営業利益又は営業損失(△)	553,752	13,122	△ 714,346	1,175,276	17,795	1,045,600	(523,767)	521,832

(注) 1. 事業区分の方法：事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各事業区分に属する主要内容

競馬施設事業・・・大井競馬場及び場外発売所施設の賃貸並びに付帯事業

オートレース施設事業・・・伊勢崎オートレース場の賃貸他

遊園地事業・・・東京サマーランドの運営

倉庫賃貸事業・・・物流倉庫の賃貸

サービス事業・・・商業施設等の賃貸及びサービス施設の運営

## 3. 事業区分の変更

従来、事業の種類別セグメントは、内部管理上の観点から「競馬場事業」、「オートレース場事業」、「遊園地事業」及び「施設賃貸事業」の4区分としておりましたが、第1四半期連結累計期間より、「大井競馬場前ショッピングモール ウィラ大井」の通期稼働を契機に、顧客へのサービスを主体とした施設賃貸及び運営事業については、将来的な成長も見込まれることから、従来の「競馬場事業」及び「施設賃貸事業」から分離し、「サービス事業」として区分することといたしました。

また、これに併せ事業の内容及び特徴をより明瞭にするため、従来の「競馬場事業」、「オートレース場事業」及び「施設賃貸事業」は、「競馬施設事業」、「オートレース施設事業」及び「倉庫賃貸事業」にそれぞれ名称変更を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間における事業の種類別セグメント情報について変更後の事業区分によった場合は、次のとおりであります。

（自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：千円）

	競馬施設 事業	オートレース 施設事業	遊園地 事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計	消去 又は全社	連結
売 上 高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,214,232	261,430	440,493	1,819,463	389,346	7,124,967	—	7,124,967
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,934	—	100	—	—	2,034	(2,034)	—
計	4,216,167	261,430	440,593	1,819,463	389,346	7,127,002	(2,034)	7,124,967
営業利益又は営業損失(△)	899,664	△2,140	△ 687,284	1,276,346	△ 14,290	1,472,294	(528,047)	944,247

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、競馬施設事業及び倉庫賃貸事業を中心に事業展開を図っており、サービスは多種にわたっております。

従って、当社グループは、サービス別のセグメントから構成しており、「競馬施設事業」、「オートレース施設事業」、「遊園地事業」、「倉庫賃貸事業」、「サービス事業」の5つを報告セグメントとしております。

「競馬施設事業」は、大井競馬場及び場外発売所施設の賃貸並びに付帯事業を行っております。「オートレース施設事業」は、伊勢崎オートレース場の賃貸等を行っております。「遊園地事業」は、東京サマーランドの運営等を行っております。「倉庫賃貸事業」は、物流倉庫の賃貸等を行っております。「サービス事業」は、商業施設等の賃貸及びサービス施設の運営等を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	競馬施設事業	オートレース施設事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,256,711	183,220	306,735	1,684,435	722,874	6,153,977	—	6,153,977
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,382	—	—	—	—	1,382	△1,382	—
計	3,258,093	183,220	306,735	1,684,435	722,874	6,155,360	△1,382	6,153,977
セグメント利益又はセグメント損失(△)	151,806	20,873	△744,413	1,154,912	75,485	658,664	△420,595	238,068

(注) 1. セグメント利益の調整額△420,595千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。